



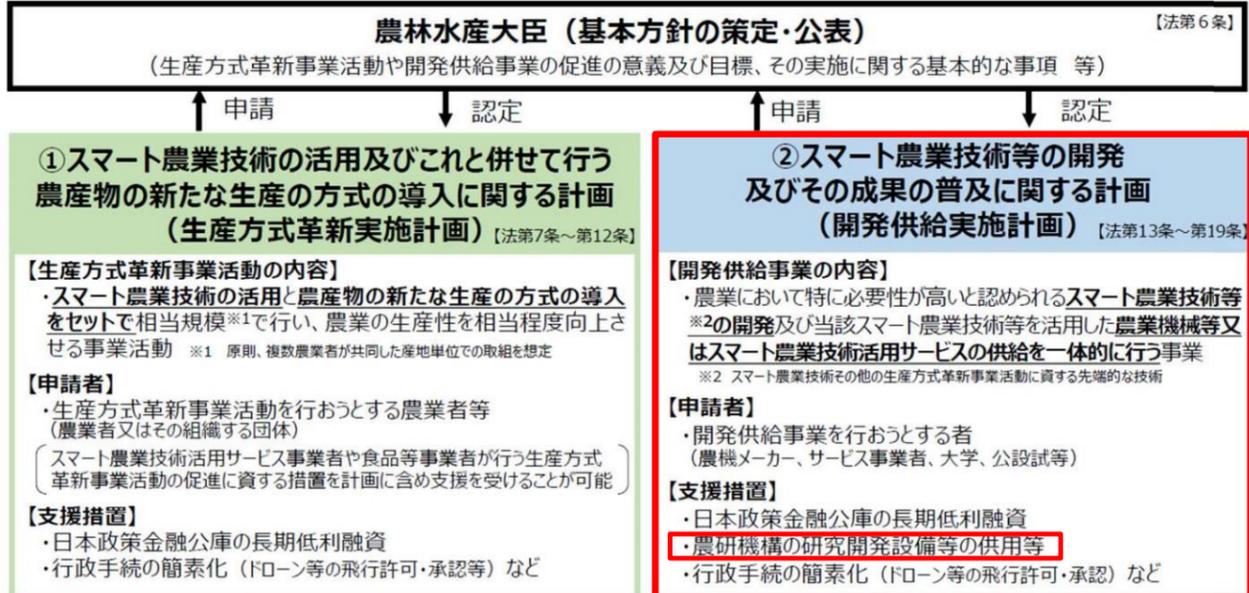
農研機構 スマート農業施設 供用推進プロジェクト

スマート農業技術活用促進法に基づく「スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画(開発供給実施計画)」の認定を受けた事業者等は、認定を受けた計画に従い、農研機構が有するスマート農業施設等を利用することができます。

農研機構のスマート農業施設供用について

- スマート農業活用促進法に基づく開発供給実施計画の認定を受けた認定者に対する支援措置として、**農研機構の研究開発設備等の供用が可能**となりました。
- 北海道から九州まで、**全国各地の拠点でほ場、スマート農機等をご準備**しています。

スマート農業活用促進法に基づく2つの認定制度



【税制特例】①の計画に記載された設備投資に係る法人税・所得税の特例 (特別償却)、②の計画に記載された会社の設立等に伴う登記に係る登録免許税の軽減

供用を実施している拠点



スマート農業施設供用の取組概要と料金体系

- **ほ場やスマート農機等の供用**と合わせ、**農研機構の専門家派遣やほ場の管理代行等のサポート**を受けることができます。

基本メニュー	料金
ほ場の貸付け	● 貸付料（近隣のほ場の借料等を基に算定） ● 資材・燃料費（実費相当額）
設備、機器等の貸付け	● 貸付料（償却費及び設備・機器等の年間維持管理費を基に算定）
一般的な利用方法、注意事項等の説明	● 時間単価×従事人数×時間（時間単価：1,400～3,000円）
作業用スペースの貸付け	● 貸付料（不動産管理規程に基づく不動産の貸付料を基に算定） ● 光熱水料（実費相当額）

オプションメニュー	料金
専門家派遣	● 時間単価×従事人数×時間（時間単価：20,000～50,000円/時） ● 旅費（実費相当額） ● 業務費（消耗品、備品費等の合計額）
技術代行(機器の操縦等)	● 時間単価×従事人数×時間（時間単価：10,000～20,000円）
管理代行(一般的なほ場管理)	● 時間単価×従事人数×時間（時間単価：1,900円/時）
農機等保管スペースの貸付け	● 貸付料（不動産管理規程に基づく不動産の貸付料を基に算定）

3

上越研究拠点について

場所

- 新潟県上越市稲田1-2-1



【公共交通機関】

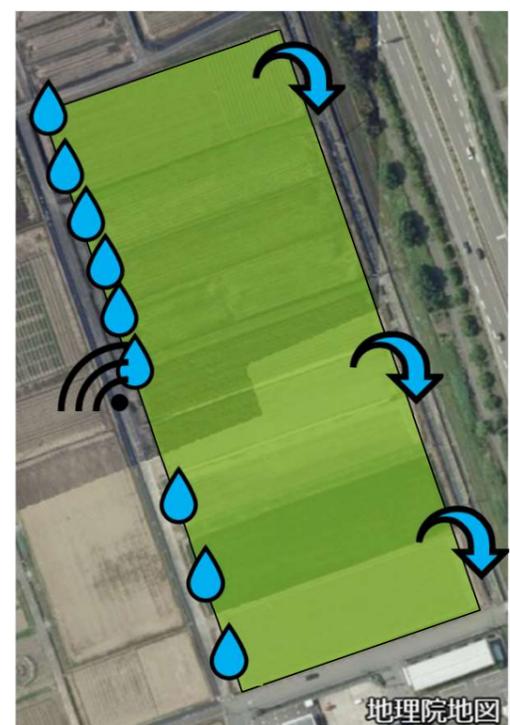
えちごトキめき鉄道妙高はなうまライン
高田駅から
頸城自動車、くびき野バス:約15分
稲田二(稲田二丁目)で下車、徒歩5分

【自動車】

北陸自動車道上越 ICより約4km
上信越自動車道上越高田ICより約6km

供用設備等

- 水田ほ場（合計約180a）



- 作業用スペース（整備中）

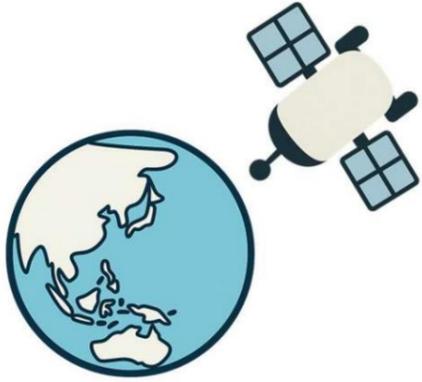
4

施設供用の利用例 ドローンの開発・改良

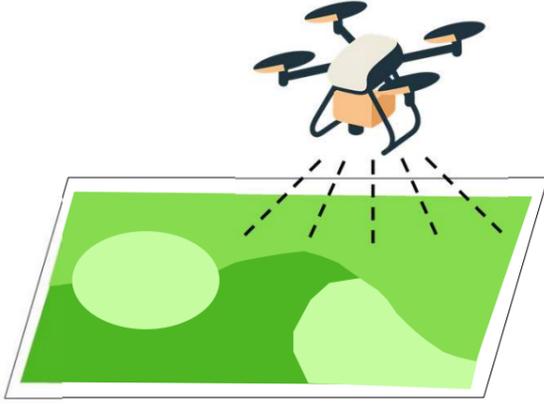
施肥・農薬散布技術

- ✓ 労働力、資材費の削減
- ✓ 環境負荷の低減

衛星観測データを利用した地力マップの作成



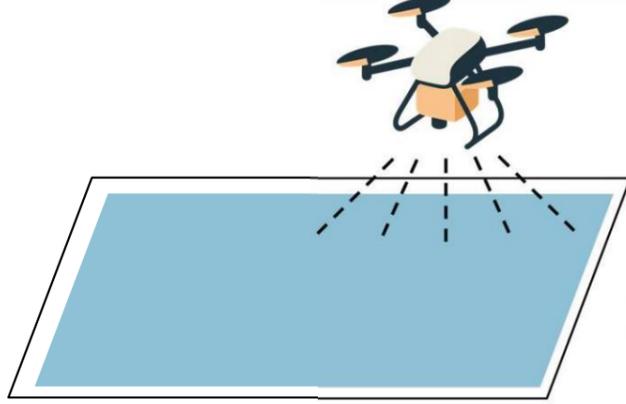
可変・精密施肥技術の開発



直播技術

- ✓ 労働力の削減
- ✓ 播種・収穫時期の分散

水稲の直播栽培における均一な播種機構の開発



✓ 農研機構の供用ほ場で、試験飛行が可能です

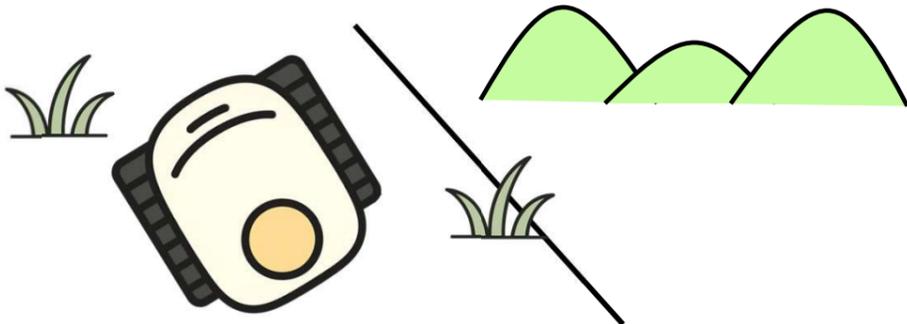


施設供用の利用例 除草ロボットの開発・改良

走行機能

- ✓ 労働力の削減
- ✓ 熱中症や、斜面・法面での転倒等のリスク低減

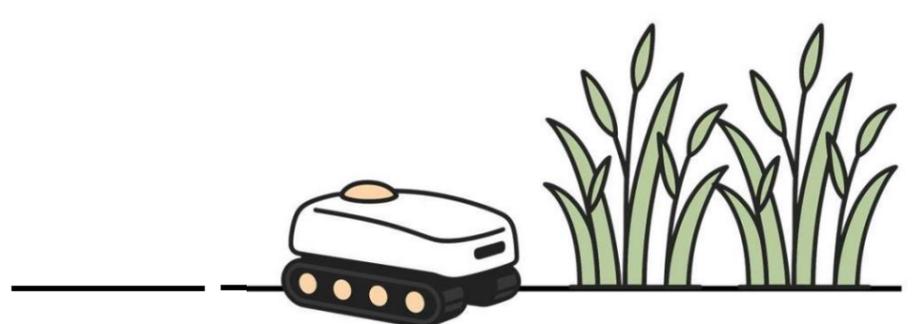
斜面でも安定に走行する機構の開発



除草機能

- ✓ 労働力の削減
- ✓ 飛び石による事故のリスク低減
- ✓ 作業漏れの減少

高い草丈も均一に刈り取る技術の開発



✓ 走行・性能試験の場所の供用や、専門家による助言が可能です



スマート農業施設供用の利用実績

○2025年1月に、**NTT eDrone-Technology**社が**つくば市**のほ場等を利用して**ドローンの飛行試験**を実施しました。

利用した施設等

- つくば市のほ場 (30a)



- 作業用スペース



農研機構の施設利用と、開発供給実施計画に基づく開発の様子



- **可変施肥等の精度の向上**に向けて、農研機構内のほ場で飛行試験を実施し、実証データを収集。
 - 開発供給実施計画では、傾斜地のカンキツ防除における労働時間の削減や、衛星やドローンで取得したセンシング結果に連動した可変施肥等による作業の効率化及び環境負荷の低減に寄与する国産大型ドローンの供給を目指している。
- (参考) [\(お知らせ\) スマート農業技術活用促進法による施設供用第1弾](#) → 

7

スマート農業イノベーション 推進会議 (IPCSA/イプサ) の 活動紹介

2026年1月29日

スマート農業イノベーション推進会議 (IPCSA) 事務局

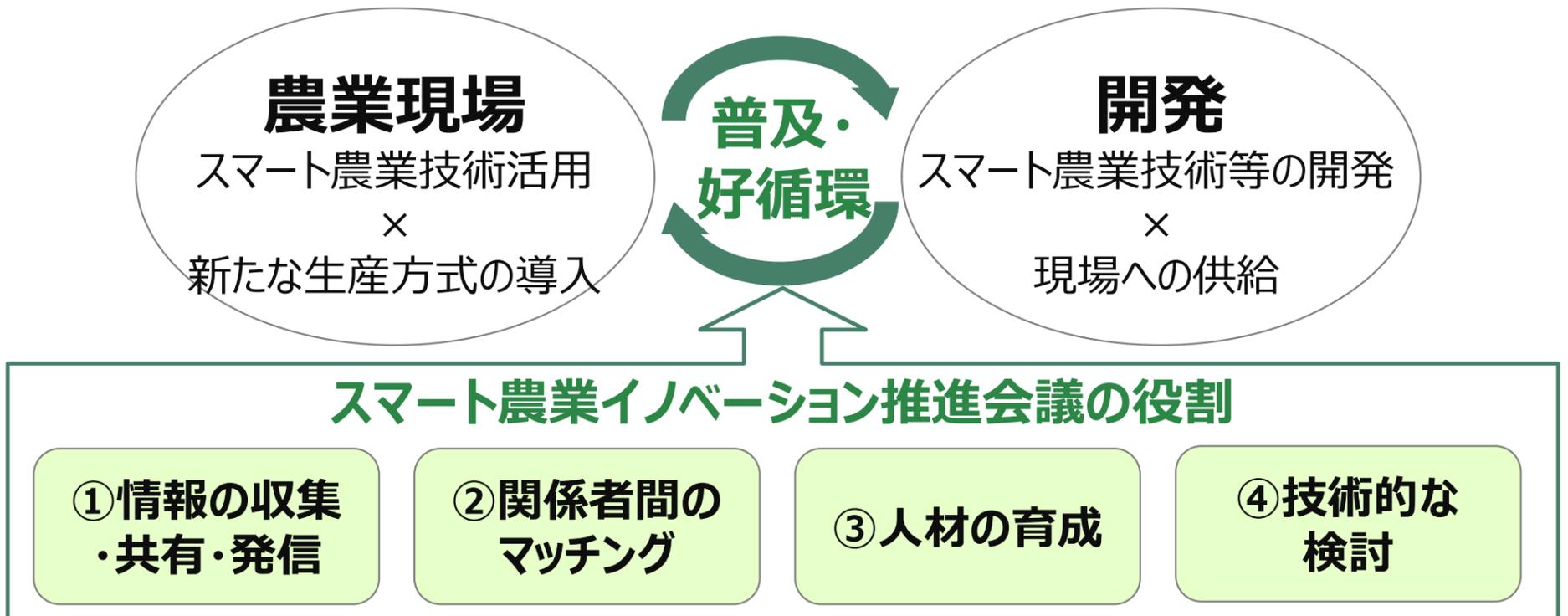
IPCSA公式ウェブサイト



8

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSEA）の役割

- スマート農業技術促進法及び基本方針に基づき、スマート農業技術の**開発と普及の好循環の形成を推進**していくため、スマート農業イノベーション推進会議（IPCSEA）を設置。
- 情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を通じ、コミュニティ形成を促進することとしており、令和7年度より本格的に活動を開始（令和8年1月時点の**会員数は約1500**）。



9

IPCSEAの主な活動内容

01 情報の収集・共有・発信

- 専用サイトでスマート農業に関する最新の情報を発信
- 国内外の技術動向、スマート農業技術による経営効果などの独自調査を実施



専用サイトで
情報発信



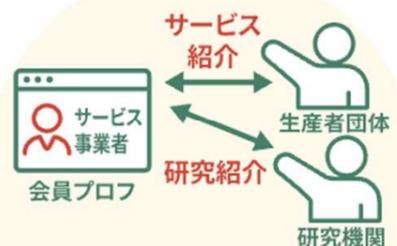
国内外の技術動向
等の調査の実施

02 関係者間のマッチング

- 各種イベントによる交流・マッチングの機会づくり
- 専用サイトで会員間のコミュニティ形成を促進



各種イベントの
実施



専用サイトでの
会員間マッチング

11/19にリリース！

10

IPCSAの主な活動内容

03

人材の育成

- スマート農業技術を使いこなせる人材の育成に寄与する研修情報の発信、モデル的な研修の実施



全国各地の研修情報の整理・提供

内容・テーマを設定

IPCSA独自のモデル的な研修を実施

【テーマ・内容案】

- スマート農業技術の有効活用による経営改善ノウハウ
- スマート農業技術に適した新たな生産方式の導入



04

技術的な検討

- スマート農業技術活用に意欲的な農業者を中心に、課題解決に向けた議論・検討の場を設置

プラットフォーム

【営農類型ごとの農業者を中心に設置し、課題や技術開発・普及等について検討】

水田作	畑作	露地野菜・花き作
果樹・茶作	施設野菜・花き作	畜産・酪農

検討会

プラットフォームの枠を超えて対応すべき議題を議論



11

会員限定ページでできること

① 会員プロフィール情報掲載、検索

ご自身のプロフィール情報の公開や、他の会員のプロフィール情報を検索することができます。



会員プロフィール掲載と検索

② おすすめ会員のサジェスト

所在地や、関心のある農業技術、営農類型の情報を元に、ランダムにおすすめが表示されます。



おすすめ会員のサジェスト

③ 気になる会員へのお問い合わせ

気になる会員のプロフィール詳細が閲覧可能で、会員にお問い合わせメールを直接送ることが可能です。



気になる会員へのお問い合わせメール送信

④ 事業提案募集

他の会員から事業提案や情報を募集することができ、自ら募集をしたり、募集情報を閲覧・検索することが可能です。



事業提案の募集



IPCSA会員限定ページ

<https://ipcsa.naro.go.jp/member/dashboard>



会員限定ページ ユーザーマニュアル

https://ipcsa.naro.go.jp/report/uploads/2025/11/IPCSA_Web_UserManual.pdf

12

(例) プロフィール情報

IPCSA スマート農業イノベーション推進会議

法人

農研機構 / スマート農業施設供用推進プロジェクト室

ノウケンキコウ

■ 基本情報

所在地	茨城県
業種	研究機関
法人形態	国立研究開発法人：(国研)
ウェブサイト	https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html

■ スマート農業技術

興味を持っているスマート農業技術	# 営農管理システム # ドローン
導入しているスマート農業技術	# 食味・収量センサー付きコンバイン # 自動走行トラクター # ほ場水管理システム

IPCSA スマート農業イノベーション推進会議

実績等 (今後の予定も含む)

実績等 (今後の予定も含む)

- # 圃場内での実証
- # 共同研究
- # 視察、見学対応
- # スマート農業関係の講師

■ マッチング希望

マッチングの希望の有無

有

マッチングの希望

スマート農業普及のために、農研機構の研究施設等の供用や専門家派遣等を要望している相手とのマッチング。

アピールポイント

農研機構は、わが国の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究を行う機関です。職員数3200名（正職員のみ）の、この分野ではわが国最大の研究機関です。全国各地に研究拠点を配置して研究活動を行っています。

ご興味をお持ちの方は
こちらからご連絡ください /

お問い合わせする

13

(例) 事業提案

IPCSA スマート農業イノベーション推進会議

農研機構のスマート農業施設を利用しませんか？～あなたのお困りごとをサポートします！～

農研機構 / スマート農業施設供用推進プロジェクト室

業種	研究機関
事業概要	スマート農業技術活用促進法律に基づき、農林水産省から計画の認定を受けた方は、農研機構のほ場やスマート農機などをご利用いただくことができます。北は北海道から南は九州まで、全国各地の拠点でほ場、スマート農機等をご準備しています。また、農研機構の専門家の派遣、ほ場での作物の栽培管理の代行など、ご要望に合わせて必要な協力も行います。利用者を随時募集していますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。詳しくは下記のHPをご覧ください。 https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html 農研機構では、共同研究や有償技術相談など様々な産学官連携の取組を行っています。最適なご支援についてご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。
必須スキル	開発供給実施計画の認定事業者（認定取得に向けたサポートもいたします）
応募期日	2028/03/31 16:11
関連資料	農研機構 施設供用の取組紹介.pdf
備考	まずはお気軽にお問い合わせください。 https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html

応募する

14

IPCSAブース展示のご紹介

① 農機の操縦体験



農業シミュレーションゲームを用いて田植え機等の農機の操作体験ができます。

また、直進アシストや自動操縦等のスマート農業技術を疑似的に体験することも可能です。

② ドローンの操作体験



MR技術（現実空間にデジタル情報を重ね合わせる技術）を用いてドローンの操縦体験ができます。スマートグラスを装着し、ドローンその場で飛ばしているかのような体験が可能です。

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先

【スマート農業施設供用推進プロジェクトに関して】

農研機構本部 スマート農業施設供用推進プロジェクト室

(**SAPPO** : **S**mart **A**griculture **P**romotion **P**roject **O**ffice)

メール : sappo@ml.affrc.go.jp

電話 : 029-838-6773

【IPCSAに関して】

スマート農業イノベーション推進会議事務局

(運営委託事業者 : PwCコンサルティング合同会社)

メール : jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com

スマート農業施設
供用推進プロジェクト
ウェブサイト



どんなことでも
まずはお気軽に
ご相談ください！

IPCSA公式
ウェブサイト



随時**会員を募集中!**
どなたでも登録いただけます。
登録・利用ともに無料です!